

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

令和元年 9 月 1 日	
所属部局・職	野生動物研究センター・修士課程学生
氏名	前田 玉青

<b>1. 派遣国・場所</b> (〇〇国、〇〇地域)	
東京都、東京国際フォーラム	
<b>2. 研究課題名</b> (〇〇の調査、および〇〇での実験)	
丸の内キッズジャンボリー2019	
<b>3. 派遣期間</b> (本邦出発から帰国まで)	
令和元年 8 月 12 日～令和元年 8 月 15 日 (4 日間)	
<b>4. 主な受入機関及び受入研究者</b> (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)	
京都大学野生動物研究センター、福島誠子特定助教	
<b>5. 所期の目的の遂行状況及び成果</b> (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)	
<p>写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。</p> <p>8月13日から15日まで開催していた丸の内キッズジャンボリーにて、PWSのアウトリーチ事業としてブース出展の企画・設営に参加しました。私は主に、ワークショップとスタンプラリー台紙の作成に携わりました。スタンプラリーの作成は2回目でしたが、前回の反省からなるべく単線を使ってシンプルになるよう別のペンで書いてみたので良かったのではないかと考えています。</p> <p>ワークショップのテーマは「ウマ」ということで、私は野生のウマの話、D2の井上さんは家畜としてのウマの話、また、私の所属していた東大馬術部監督の加藤さんを講師として迎え、馬術の話をしていただきました。はじめてのワークショップということで、なにを話すか迷いました。クイズを入れたりしたところは良かったと思います、反省点としてはこういうワークショップに来る子供たちは思ったよりも動物についてよく知っており、もうちょっと難しい話をするべきでした。良い経験になったので、次に子供に話す機会があれば、より面白い話ができるよう工夫したいと思います。</p>	
<p>はしる!とぶ!およぐ! 世界の動物アスリート</p>   <p>1. ウルの体の秘密 2. 動物はどう動く? 3. 虎へ挨拶!ユキヒョウからの挑戦状 4. 中国の動物たち 5. 空からイルカを見てみよう 6. 動物のど自慢</p> <p>どうぶつスタンプラリー 公益財団法人 日本モンキーセンター 京都大学 霊長類学・ワイルドライフサイエンスリーディング大学院</p>	
作成したスタンプラリー台紙	
<b>6. その他</b> (特記事項など)	
謝辞：このような機会を与えてくださったPWSに感謝いたします。重ねて、この企画の設営・運営に関わったみなさま、特に福島さまと内藤さまに感謝申し上げます。	